

令和元年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：令和元年 7 月 25 日（木） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス

出席者：田尻達郎（理事長）、増本幸二（副理事長）、山高篤行（会長・理事）、黒田達夫（次期会長・理事）、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔（以上理事）、窪田正幸、八木 實（以上監事）、越永従道（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、浦尾正彦（財務会計委員長）、照井慶太（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長・悪性腫瘍委員会委員長）、宮野 剛（庶務委員）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、小野 滋（専門医認定委員会委員長・研究倫理委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員長）、米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長）、廣部誠一（第 36 回秋季シンポジウム会長）、菱木知郎（機関誌委員会委員長）、北川博昭（Pediatric Surgery International Publication Committee 委員長）、淵本康史（国際・広報委員会委員長）、古田繁行（保険診療委員会委員長）、内田広夫（教育委員会委員長）、渡邊稔彦（学術・先進医療検討委員会委員長）、木下義晶（倫理・医療安全管理委員会委員長）、藤代 準（データベース委員会委員長）、澤井利夫（小児救急検討委員会委員長）、田附裕子（トランジション検討委員会委員長）、森井真也子（ワークライフバランス検討委員会委員長）、内田恵一（規約委員会委員長）、佐々木隆士（NCD 連絡委員会委員長）、伊勢一哉（ガイドライン委員会委員長）、家入里志（利益相反委員会委員長）、村上 聡（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、増本幸二副理事長、浮山越史理事とした。
2. 令和元年度第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項
 - 1) 各種委員会委員と業務内容の見直し並びに活動方針について（各委員長）
 - (1) 各種委員会委員について
各種委員会委員長より、就任挨拶がなされた。
各種委員会委員長より、委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調整により、構成メンバーが承認された。
 - (2) 業務内容の見直し並びに活動方針について
各種委員会委員長より委員会業務内容ならびに活動方針案が提出され、質疑応答・審議および適宜修正を行った上で、承認された。修正がされた委員会規則を含めて規約委員で文言の調整を行ったうえで、次回理事会に提出し、HPに掲載することとした。
 - 2) 第 57 回学術集会について（山高会長）
山高会長より資料に基づき、プログラム案が提案され、承認された。なお、継続審議の

海外名誉会員候補者のKevin Patrick Lally先生について審議が行われ、承認された。

日時：令和2年5月21日（木）、22日（金）、23日（土）

会場：都市センターホテル

テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子どもが最初、いつだって

3) 第58回学術集会について（黒田次期会長）

黒田次期会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和3年4月28日（水）、29日（木）、30日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

4) 第35回秋季シンポジウムについて（米倉秋季シンポジウム会長）

米倉秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和元年10月19日（土）

会場：大阪国際交流センター

テーマ：小児集中治療

5) 第36回秋季シンポジウムについて（廣部次期秋季シンポジウム会長）

廣部次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和2年11月7日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

6) 第37回秋季シンポジウムについて（金森次々期秋季シンポジウム会長）

金森次々期秋季シンポジウム会長より、現在会場を検討中と進捗状況が報告され、了承された。

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（藤野委員長）

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2019年6月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,755名（うち海外1名）、評議員324名、名誉会員57名（うち海外5名）、特別会員71名（うち海外1名）の合計2,207名である。また、パスワード更新時期が来たため、WebEx使用規定を改定したと報告があり、承認された。

(2) 専門医制度委員会（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、村上事務局）

米田施設認定委員会委員長より資料に基づき、7月10日に施設認定委員会が開催され第1回の審査が行われたと報告された。

また、小野専門医認定委員会委員長、村上事務局より専門医制度の個人申請の画面について完成したと報告があり、理事会後に会員の先生方にアナウンスすることとした。

(3) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、会員から J-STAGE に掲載されている日本小児外科学会雑誌を会員のみ閲覧できるように制限してはどうかと意見があり、委員会で検討中であると報告された。

(4) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、7月9日に行われた第20回記者懇談会「2020年度診療報酬改定に向けた各学会の要望内容」に粒子線治療を必要とする腹部・骨盤内悪性腫瘍に対するスペーサー挿入術を要望したと報告された。

(5) 教育委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、がんの子どもを守る会 2019年度海外留学助成事業募集要項が提出され、周知してほしいと依頼がされた。また、日本医学会用語管理委員会から遺伝学用語に関するアンケートのお願いが届いたと報告があり、委員会で審議後に持ち回り審議にて回答を提出することとした。

(6) データベース委員会（山高前担当理事）

山高前担当理事より資料に基づき、NCD データを用いた研究計画書が2件申請があったと報告があり、匿名化できるか、倫理的な問題をクリアしているか、NCD が希望のデータを出すことができるのか等、データベース委員会から申請者に問い合わせ、再度データベース委員会、研究倫理委員会で審議の上、理事会に諮ることとした。また、照井慶太先生からの NCD データ利用の研究結果公開（医療品質評価論文）については、個人の所属と委員会名と併記した形での投稿とすることで承認された。

(7) 日本外科学会（越永前理事長）

越永前理事長より資料に基づき、以下の項目の日本外科学会の定例理事会報告がされた。

- ・シーリングについて
- ・日本専門医機構の年会費について

(8) 四者協（越永前理事長）

越永前理事長より資料に基づき、日本小児科医会から生育基本法検討委員会を作りたいと提案があったと報告があり、学会でも要望がある場合は提案してほしいと依頼がされた。また、健康診査委員会の幹事団体として日本小児科学会から日本小児保健協会に業務が移管したことが報告された。

8) ピシパニール不採算品算定申請について（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、2年前にも同案件で不採算品算定申請を行っているとの報告があり、今後も供給継続を希望するため、厚生労働省に要望書を提出することが承認された。

9) 「HPV ワクチンに関するリーフレット」の名称掲載について（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、健やか親子21推進協議会から後援名義依頼が届いたとの報告があり、審議の結果、後援名義を許可することが承認された。

4. 報告事項

1) 理事長報告（田尻理事長）

- (1) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER3月号」を受領した。
- (2) 日本整形外科学会からの寄贈本「腹腔外発生デスマイド型線維腫症診療ガイドライン草案」を受領した。
- (3) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.364」を受領した。
- (4) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！Vol.175」を受領した。
- (5) 日本新生児生育医学会からの通信文「法人格変更のあいさつ文」を受領した。
- (6) 小児医学研究振興財団からの通信文「理事長交代あいさつ文」を受領した。
- (7) 日本助産師会からの通信文「理事長交代あいさつ文」を受領した。
- (8) 日本整形外科学会からの通信文「腹腔外発生デスマイド型線維腫症診療ガイドラインに対するコメントへの回答」を受領した。
- (9) 日本医学会からの通信文「MID-NETの利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて」を受領した。
- (10) 日本医学会からの通信文「ゲル充填人工乳房の「使用上の注意」の改訂について」を受領した。
- (11) 日本医学会からの通信文「治療と仕事の両立支援に関して」を受領した。

2) 理事会ドライブの運用方法（村上事務局）

理事会資料を配信してからの追加資料については、追加資料フォルダを新たに設け、追加資料フォルダに資料をアップロードし、理事会MLに同資料を流すという運用が提案され、そのように運用することとした。

3) 次回定例理事会日程の確認（田尻理事長）

次回理事会は令和元年9月25日（水）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長

副理事長

理事
